

はなえくぼ扶桑便り No.60

令和8年1月1日 発行
(株)ニーノコーポレーション
扶桑町大字斎藤字緑223
(0587) 93-7833

あけましておめでとうございます！

旧年中は大変お世話になり、本当にありがとうございました。

いつも温かいお言葉やサポートをいただけたことに、心から感謝しています。
皆様の存在が、私にとって何よりの励みになっています。

いよいよ新しい一年が始まりましたね。

2026年は、午年にちなみ抱負や願いがトントン拍子に叶うよう、最高の「うまくいく年」になることでしょう。

私自身も、皆さんにポジティブなエネルギーを届けていける
よう、精一杯頑張ります！本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
新しい一年が、私たちにとって笑顔あふれる素晴らしい年になりますように。

株式会社ニーノコーポレーション 代表取締役 二之湯哲



『新しい年もよろしくお願ひいたします』

昨年の年頭に掲げた「はなえくぼ5ユニットと一緒に新しいことに取り組みたい」という目標がない、7月に3事業所5ユニットから有志が集い「業務改善委員会」が始動し、日頃感じている業務の改善点を話し合ったり、ユニットを超えて情報交換をする場ができました。はなえくぼ扶桑でも委員会メンバーが中心となって、業務の見直しが行われています。

職員が楽しく働ける施設なら、利用者様にとっても楽しく居心地のいい場所になると信じて、新しい年もみんなでいっぱい笑って過ごしていきたいです。
どうぞよろしくお願ひいたします。

はなえくぼ扶桑 管理者 多治見恵



『認知症介護実践者研修を終えて』

数か月にわたる研修を通じ、認知症への理解から、対象者様の強みを活かし、想いをくみ取り、その想いをかなえることができるアプローチまで、様々な視点を学ぶことができました。

今後は研修で得た知識を自分だけのものにせず、利用者様おひとりおひとりが、その方らしく安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

はなえくぼ扶桑 介護職員 K. M



扶桑、江南、ひくみが
つながるクリスマス壁画

『クリスマス会』

12月15日、少し早いクリスマス会を行いました。利用者様もクリスマスのカチューシャや帽子を被られ気分もクリスマスです。チキンの唐揚げやドリア、シチューなど、愛情たっぷりの美味しいランチをお腹いっぱい召し上げました。

午後からは、スタッフによる出し物です。ハンドベルの演奏を聴いたり、ウクレレ、フルートの演奏に合わせて、クリスマスソングやみなさまがお好きな歌謡曲を歌いました。おやつにはイチゴがのった大きなクリスマスケーキをペロリと召し上がり、楽しく幸せな1日を過ごすことができました。



『気持ちに寄り添う対応を』

認知症介護をしていると、「共感」という言葉をよく聞くと思います。共感とは、相手が今どんな気持ちでいるのかを感じ取り、その気持ちにそっと寄り添うことです。ここで大切なのは、「自分ならどう思うか」「自分の価値観ではどうか」といった自分の考えはいったん横に置くということ。まっさらな気持ちで、目の前の人の気持ちに寄り添う姿勢が“共感”です。

似た言葉に「同情」があります。同情は、自分の考えをもとに相手に感情を向けることです。たとえば「そんなことがあってお気の毒ね」「そんなことがあったら私でも怒るわ」といった言葉は、一見寄り添っているように見えて、実は“自分の気持ち”を中心としています。

共感は、自分の思いや価値観を加えずに、「この人は今、どんな気持ちなんだろう」と、相手の心にそっと寄り添う姿勢です。

認知症の方は、気持ちをうまく言葉にできないことがあります。そんなときに共感して寄り添ってくれる人がいたら、「わかってもらえた」と感じ、安心につながります。たとえば、「悲しかったんですね」「それは怒れてしまいますがね」と、その方もやもやした想いに、そっと寄り添うことができれば、安心や信頼を育てることができます。

共感の姿勢は、認知症介護だけでなく、家族や友人との関係にも良い影響を与えます。日々の生活の中で、少し意識して取り入れてみてください。

使わなくなったりオルとかありましたらご寄付をお願いします。

次回は、はなえくぼひくみ便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110
グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小松町長者毛西132番地
(0587) 52-3808
はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com
ブログも時々更新しています